

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

戦争が起きているときの生活や周りの環境が今とは考えられない姿を神戸新聞社に教わり、今まで以上に理解ができました。自分と同じくらいの子が国のために戦争に参加しているのが驚きで、自分が同じ立場なら怖くて耐えきれないと思いました。今回の貴重な話をよく聞いてよく考えれたのでこの戦争を知らない人にも話していき、戦争とはどういうものなのかを受け継いでいきたいです。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

金曜日の神戸新聞社の出前授業は休日を挟んだ今日でも鮮明に記憶が残る衝撃的なものでした。戦争というものの怖さを知らずに生きてきた僕はその現状でどのようなことがあったのか、どんな物語があったのかを想像するしかありませんでしたが、今回の出前授業を通して、戦争での被害、失われた尊い命、そして、平和な今に至るまでのいろいろな人の努力を知ることができました。これからも、この平和の中で生きていくために、過去の地上戦沖縄戦、原爆や大空襲のことを忘れずに未来へ受け継いでいきたいです。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

神戸新聞社の方々のお話はとても心に響いたし戦争はダメなものというのが改めて実感しました。でも所々面白いことを言ったり、明るく話してくださっていたのであまりつらい気持ちにはならなかったのが良かったです。今も世界のいろんなところで戦争が起きていて、人間だから争うのはしょうがないけど話し合いとかの平和に解決できたらいいなと思います。それにまだまだ核保有国はいっぱいあるので僕たちが大人になっているときにはなくなったらいいなと思います。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

出前授業で沖縄で地上戦があったことを初めて知りました。そして、地上戦で大事な役割を務めたのが兵庫県の人だと知ってとても誇りに思いました。沖縄戦では犠牲者の数が沖縄県民のかたがとても多く、島田あきらさんがいなかったらどれほどの犠牲者になっていたのだろうと思いました。

今まで自分は沖縄戦のことを知らなかったので、まだ知らない人が多いんじゃないかなと思いました。これからたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

海戦の話が怖かった。話を聞いているとわたしのひいおじいちゃんは戦争に行ったけど生きて帰ってこれた
そうなので生きて帰ってこれたのは奇跡なんだなとおもいました

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

新聞社の方たちの話を聞いて改めて戦争(地上戦)はあってはいけないことだと感じました。
戦争で沖縄で何があったのか詳しくわかっていなかったけど、話を聞いて知ることができた。
もし同じような地上戦が起きたとしたら、私だったらどうすることができるのか考えるいい機会になった。
私だったらこんなことができる気がしないけど、やっていた子供たちがいたことがわかった。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。

私たちが今住んでいる神戸でも空襲があり、たくさんの人々が亡くなっていてすごく怖いです。

新聞社の方が言っていた通り、「戦争は絶対ダメ」だと痛感しています。

最も多く亡くなったのは、沖縄戦だということを初めて知りました。

修学旅行で防空壕の中に入るのは少し怖くなってきたけれど、

これから少しずつ戦争について知っていきたいなと思いました。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

沖縄戦の当時の状況や今の戦争の状況など自分が知らない「戦争」についての情報や、沖縄戦当時の知事「島田 勲」さんについての情報までを教えてくださいました。

沖縄戦では18万人もたくさんの方が亡くなったというのを聞いて心が痛くなりました。

戦争は二度としてほしくない事だなと改めて思いました。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

沖縄で昔あんなに悲しいことがあったのを知りました。沖縄だけでなく、世界各地で戦争は起きていてみんなそれぞれの正義のために戦っているけれど、その相手にも、相手なりの正義があって誰だって人が死んだら悲しいし、戦いを望まない人たちのほうが大多数なのに、戦ってしまうのはとても悲しいことだと改めて感じました。

いま日本では戦争が起きていなくて、当たり前で部活ができる、当たり前で学校に通えることがとても幸せなことに気が付きました。世界で戦争している国はまだたくさんあって誰もが望んでいない死なのに、無差別に殺されることはあってはならないと感じました。

戦争はこれからもこの先もあってはならないもので、一番悲しい争いだと学ぶことができました。

このことをこれからの未来にも語り継いでいきたいです。

めあて:神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

今まで、沖縄は食料も軍事力も枯渇している中でなぜ本州から援護がなかったのだろうと感じていたが、今回の出前授業を聞いて、アメリカ軍はすでに沖縄の周りを包囲していたから、下手に動くことができなかったという現実を知ることができた。また、沖縄だけでなく、神戸や姫路、東京などの人口が多く集まり、栄えている都市も大量の焼夷弾を落とされたという話を聞いて、まさに日本は島国として孤立していたのだという背景を知れた。現在でも戦争が起こっている国があるが私たち、日本には関係のないこととして捉えるのではなく、同じ地球に生きている中で戦争という無意味な行為を否定し、平和を守り続けようと一人一人が行動することが私たちの義務であると感じた。

めあて: 神戸新聞出前授業の感想

【問】

今日の神戸新聞社の出前授業の話の感想を書きましょう。

神戸や姫路、東京などで大空襲があったことは知っていましたが、その様子を写真で見ることは初めてでした。いつも平和学習では死者の数が示されていますが、私には、その数が大きすぎて、あまり実感がわきませんでした。しかし、自分が行ったことのある元町や中央区の大空襲後の写真を見ると、空襲の規模がとてつもなく大きかったこと、大空襲で亡くなった方のほとんどがその地域に住んでいる人ということを実感して、自分と共通点のある人がなくなったことに胸が痛みました。

沖縄戦争でも、兵庫県や神戸市にゆかりのある方々が、助けに入ったにもかかわらずなくなってしまったこと、そして、残酷な考え方をしていた日本の過去を改めて知って、心がつらくなりましたが、そのような過去があったからこそ今の日本があることに、とても考えさせられました。次世代の日本を担う私たちが日本をよりよくしていくためには、日本の残酷な過去を知ったうえで、自分たちに何ができるのか見つけていくことが大切だと感じました。